



会の告知版

11月29日(日) 映画鑑賞会(第4回) 18:00 市役所市民プラザホール
 上映 「恐怖の報酬」 ジョルジュ・クルーゾー監督/イブ・モンタン主演
 1953年カンヌ国際映画祭グランプリ受賞作品。仏映画 (詳細添付チラシ参照)
 入場無料

12月 7日(日) 定期役員会 13:00 中央公民館 13:30~14:45
 東久留米雑学塾(第12回) 15:00 中央公民館
 演題 「シネ・ブラボー=懐かしの映画館」
 講師 米光慶二郎氏(当会会員・36年文(演劇))
 (詳細案内書(配布済)参照)

東久留米稲門会役員・顧問・部会長合同忘年会
 17:30~20:00 東久留米駅西口 「磯久」

平成16年

1月12日(月-成人の日) 東久留米稲門ウォーキング会/グルメ部会共催
 "谷中七福神巡り"と根岸「笹之雪」"豆腐料理を楽しむ会"
 *一方のみの参加可。但し「笹之雪」は定員あり。(詳細添付案内書参照)

17日(土) 東久留米稲門会新年会 18:00~ 成美教育文化会館
 (詳細別途案内)

[大学・校友会関係]

11月13日(金) 総長招待職域稲門会会長会
 22日(土) 総長招待道府県支部長会・商議員会
 26日(水) 早慶戦100周年記念試合 8:30~ 神宮球場



Waseda Sai
 2003
 November.2-3

[部会スケジュール]

書道部会 11月15日(土)~16日(日) 第2回作品展
 成美教育文化会館 (詳細案内書(配布済)参照)
 毎月第2日曜日 13:30~16:00 中央公民館

散策山登り部会 11月24日(月-国民休日) 鎌倉・大仏コース
 東慶寺、浄智寺から天柱峰、葛原岡、源氏山、さらに、銭洗い弁天、佐助稲荷、
 大仏坂までの古色豊かなヘルシーハイキングコース。(詳細添付案内書参照)

太極拳部会 毎週土曜日 10:00~11:30 成美教育文化会館1F

俳句部会 11月16日(日)例会 13:30~17:00
 滝山、西部地域センター3F 兼題「すきま風」と「当季雑詠」
 12月21日(日)例会/忘年会

囲碁部会 毎月第4日曜日 13:00~16:30 成美教育文化会館
 11月22日(土)・23日(日)合宿 常陸多賀「静台荘」

グルメ部会 16年1月12日 根岸「笹之雪」にて「豆腐料理を楽しむ会」
 *同日開催の本部ウォーキング会と併催。但し本会は定員16名にて申し込み要。
 お申し込みは神田部会長(TEL71-0808)まで。(前記及び添付案内書参照)

大学の創立125周年への動き

会長 高橋 勤

「もともと早稲田には”学生一流、施設二流、教授三流”との言葉があって、語学教育などは非常勤講師で適当におこなってきた。出席しなくても卒業できる、就職の世話もみない、何もしない放任大学だ。ただ、一応は卒業できて、就職して、学生から今まで文句がでなかっただけだ」と書かれた雑誌を読んだ記憶がある。

それでも80年代には早稲田はわが世の春だった。90年代になり、慶応大学が湘南藤沢キャンパス(FSC)の成功などで、受験生の人気も就職先の評価も早稲田に大きく水をあげ、早慶逆転の悪夢の時代を迎える。

現在、国立大学の独立法人化をはじめとして、少子化問題等により、大学間競争が激しい時代を迎えている。”早稲田”のブランドだけではトップレベルの名声を維持することはできない。大学は、時代の変化と要請、90年代の失速の経験を原動力として、創立125周年に向け、様々な改革に取り組んでいる。この数年、カリキュラムや学部の変革を強力に進めて、冒頭の言葉も変わったと言われている。

学部教育の改革の中心的な役割を担っているのはオープン教育センターだと思う。オープン教育センターの設置骨子は;

(一) オープン科目は学部を越えて他学部の科目を聴講できます。科目数は協定大学から提供された科目を併せて2000を超える。ユニークなオープン科目として「大隈塾」がある。担当教員には、田原総一郎、高野猛等各界のリーダーをゲストスピーカーとして招聘する。招待されたゲストには、小泉純一郎、安部晋三、小沢一郎、筑紫哲也、宮内義彦、菅直人、田中康夫等々著名な人々です。

(二) テーマカレッジは所属学部にて在籍しながら、学部の垣根を越えて少数教育が受けられる制度です。学際的なテーマを持ちゼミと講義とが複合されている。

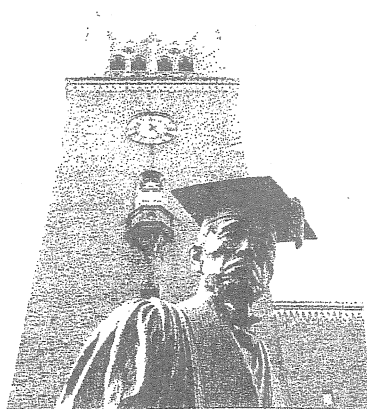
(三) チュートリアル・イングリッシュは少人数(教師一人に学生4名)の会話能力訓練を目指し、さらに書く能力、ディベート技術の向上をはかる。素晴らしい学習環境です。

(四) インターシップは行政、国際、ベンチャーの3分野。就業実習を中心に実社会に学ぶ。実習先には、文部科学省、環境省、JETRO、ITソフト開発や企画サービス等があります。これらは実社会に出て学生個々の能力を100%発揮できるよう、外国語の能力、文章力、知識力などの基本的スキルを与えることを目的としています。

学部の新設、再編では、来年4月開設される「国際教養学部」は専門分野に特化せず、幅広い教養をすべて英語で培うもので、アジア太平洋地域での主導的な大学を目指す評価の高い戦略的学部です。政治経済学部では「国際政治経済学科」を新設します。所沢では、スポーツ科学部を新設。人間科学部では生涯学習の機会を広く提供すべく、人間科学部e・スクール(通信教育課程)を4月より開講しました。

専門職大学院は現在5つが開設されています。来年、法科大学院(ロースクール)と金融経済専門大学院が新設されます。専門職大学院では、社会人向けプログラム充実させ、高度な職業人を育てます。卒業生に対しても重要なサービスとなり、インターネットを利用したeラーニングとともに一生にわたる知的キャリアを支援していくことになるのです。

実学志向の改革は大学改革の柱であり、早稲田の改革は他の大学の先頭を走っていると思います。たゆみない教育システムの改善こそがベストであると確信しています。

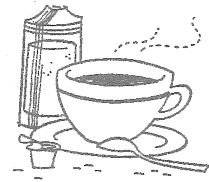


会の行事

映画鑑賞会（第3回）

9月28日（日）18時より市民プラザホールにて往年の名画「カサブランカ」を上映。

多数の一般市民を含む80人余の入場者は、ハンフリー・ボガード、イングリット・バークマンの端麗な演技に酔い、若かりし頃の感動を蘇らせた。老齡な淑女が「良い映画を観させてもらった」と呟いていたのが印象に残った。



バーベキュー会（第2回）開催

晴男・女に雨男・女、”第2回バーベキューを楽しむ会”に昭和記念公園に参集した多種多様な？一団に天もその処遇に苦慮したのだろう、10月13日、体育の日は夏日を思わせる好天に始まり、一変してけたたましい驟雨、雷鳴、突風、そして天高く清々しく晴れ上がる秋空への回復とめまぐるしく三転四転した。

忙しく食卓を整える女性群に混じって、貧しい学生時代10円のキャベツ1個で一週間を過ごしたというA会員の食材を運ぶリアカー姿や運動部で恐い先輩達の食事を作らされたO会員のエプロン姿などが若かりし往時を偲ばせて微笑ましかったし、高齡のお母さん、小学生のお孫さん、病後の奥さんを甲斐甲斐しく伴って参加された会員もあって、時ならぬ豪雨もものかわ、焼きたての美味な料理と心温まる数々の寸景に感動さえ覚える素晴らしい一日を参加者30余名が共有した。

午後3時過ぎ、宴は終焉し、膨れた腹部をさすりつつ、驟雨一過の抜けるような青い秋空に今を盛りと咲き誇るコスモスの群生の中を妙に離れがたい感情にかられながら帰路に着いた。

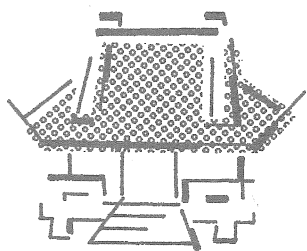
（比護喜一郎記）

第3回ウォーキング会 <深川界限散策>

10月19日（日）晴天に恵まれて総勢11名（内女性4名）の参加を得て、隅田川の東岸・江戸の下町の名残りを見る深川界限のコースを散策した。

8時30分東久留米駅に集合し、西武線、地下鉄大江戸線と乗り継ぎ、森下駅からのウォーキング開始が10時。新大橋、芭蕉記念館、芭蕉庵跡と訪ね清澄庭園にて昼食。

この庭園は江戸の豪商紀伊国屋文左衛門の屋敷跡と伝えられ、岩崎弥太郎が造園を計画し、全国から取り寄せた名石を配して「回遊式林泉庭園」としたもので、その景観はとても素晴らしかった。



午後は最初に深川江戸資料館を見学。この中には江戸時代の庶民の家や生活が再現されており、下町の暮らしが実感出来て大変興味深かった。

そのあと富岡八幡宮、深川不動尊等を経て石川島公園にて休憩し、佃島にてそれぞれ佃煮を買い求め最終地月島駅に到着した。

月島では有名な「もんじゃ焼き」の店に入り、雑談しながら初めて食べる美味しさに皆満足した。

今回のウォーキングでは江戸の下町風景を感じ、隅田川に架かる美しい橋（新大橋、清洲橋、佃大橋等）を眺めながら約7km3時間の散策で全員楽しく無事完歩することが出来た。

（森田 隆記）

平成15年度第5回役員会

10月5日（日）、東久留米雑学塾に先立ち定時役員会を開催。恒例の当稲門会新年会の1月開催をはじめ、バーベキュー会、ウォーキング会、映画鑑賞会など当会主要行事の開催が討議・確認された。

早慶戦(秋季六大学野球リーグ)観戦

六大学野球ファン9人(安藤、大川、太田(晴)、川上、神田、島田、森田、山崎の諸氏と私)は11月1日(土)12時に神宮球場に集まり、内野席の上段の席に陣取り、早慶第1戦を観戦した。両校の応援が球場に響き渡る中、試合は終始早稲田が慶応を圧倒し、7対1の大差で圧勝、早稲田は史上初の4連覇を達成した。我々9名は選手たちの胴上げ、校歌の斉唱、エールの交換を見てから球場をあとにして東久留米駅に戻り、うち7人は居酒屋に直行し、勝利の祝杯をあげた。

翌2日、早稲田は慶応を連破し、早大野球部史上初の10戦全勝の完全優勝を勝ち取った。
(帆角信美記)



大学・校友会の行事

清瀬稲門会定時総会・東村山稲門会年次総会

清瀬稲門会定時総会が10月18日(土)午後1時30分から清瀬アミューホールで開催され、菱山、帆角両副会長が表敬出席。

東村山稲門会では11月8日(土)市中央公民館ホールにて年次総会を開催。総会記念公演(第30回東村山雑学塾)として、ピアニスト久元祐子のレクチャーリサイタルを開演した。

早大校友会代議員会開催

10月3日(金)夕、大隈会館にて開催。2002年度経常部収支決算、規約改正、推薦校友候補者、賛助代議員記贈呈、2004年代議員/幹事/大学商議員改選、2003年度稲門祭等審議、承認された。会議終了後、大隈ガーデンハウスに席を移し懇親会が催された。

ホームカミングデー・稲門祭

10月19日(日)午前、戸山キャンパス記念会堂に於いて「ホームカミングデー式典」「卒業年次別の会」が、午後、西早稲田キャンパスで「稲門祭」が開催された。今年度の招待対象年次は、卒業後50年目(昭和29年卒)/同45年目(昭和34年卒)/同35年目(昭和44年卒)/25年目(昭和54年卒)。当会会員では16名が該当年に当たり招待を受けた。恒例の福引き券は平山、石寺両幹事他の尽力で割り当てを完売し、多くの購入協力者が当たり籤をひいた。

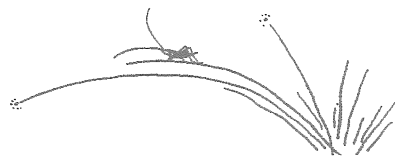
東京三多摩校友会支部大会

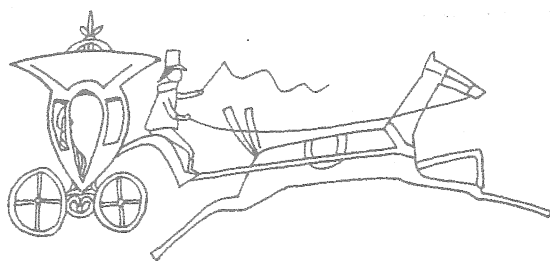
早稲田大学校友会東京三多摩支部発足後最初の支部大会が10月25日(土)午後3時から府中・大國魂神社内結婚式場で白井総長、小林校友会代表幹事ら出席のもと開催された。当日は23稲門会から100名以上もの会員が参集、当会からは高橋会長、菱山・帆角副会長、森田・河村幹事5名が出席。

部会便り

女性サークル部会

11月7日(金)福生市、大多摩ハム工場を見学。男性会員も多数参加し、製造方法、工程を勉強したのち、出来立ての無添加ハムと地ビールで去りゆく多摩の秋を味わった。





書道部会

9月4日(木)～5日(金)一泊二日、参加者12名(女性3名男性6名)で第4回合宿錬成会を実施した。4日、車3台に分乗して東久留米を出発、途中真鶴半島の”中川一政美術館”に立ち寄り、真鶴岬の景観を後ろにして約3時間余りで目的地、熱海の「双柿舎」に到着した。坪内逍遙が自ら工夫設計し、長逝するまで常住していたこの「双柿舎」で、いよいよ<書道錬成会合宿>が始まった。昨年の合宿と違って不断の稽古の成果か、余裕のある出来栄への運筆が何えました。

半紙の作品は一部であり、長い掛軸にする条幅が殆どでした。部屋一周の壁にテープで張り付け、武藤先生と平山十方師範による言葉優しい酷評と熱達した運筆と墨量の指導を受けました。来る11月15～16日の成美会館での作品展に向け、錬成会の成果が更に期待出来ると思います。”継続と練習は力なり”で近い将来美しい変体仮名を活用し、毛筆で年賀状が書けるようにと願う次第です。

お酒も次第に進み和気藹々の歓談あり、翌日帰途”三島大社”の1200年経た金木犀の大樹、天然記念物名勝の天然地泉に富士山の雪解け水が湧き出す”楽寿園”の景観、また富士山の溶岩を通して日量100万トンの湧水が育む感動の”柿田川自然”、等を観て少々のお土産を買い求め後、東名高速道で東久留米に無事到着しました。

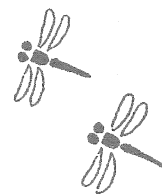
逍遙先生の筆塚のある場所を選ばれ、料理も美味しく、観光の楽しさも味わえたこと、幹事さんに改めて感謝申し上げます。(15年9月末日 福田 稔 記)

俳句部会

9月21日(日)、中央公民館において第50回句会を開催。節目の50回目であったが、病氣療養中の部員も多く、記念行事は後日の企画に委ねた。出席者は15名(投句のみ3名)。兼題「新米」「当季雑詠」。席題「曼珠沙華(彼岸花)」。

高得点(4点以上)句は下記4句。

秋蝶の訪れもある書庫の昼	杉本 達夫
駅を出ていつか一人の良夜かな	三田 三(畔棠)
新米を研ぐエプロンの弾みおり	比護喜一郎
新米の粥のうれしき二日酔い	杉本 達夫



囲碁部会

去る9月28日(日)に、第3回オール早稲田囲碁祭(首都圏)が日本棋院市ヶ谷本院にて盛大に行われた。当部会からもAとDクラスに1チーム(5名編成)ずつ計2チーム(10名)が参加し熱戦を展開した。今年は、参加メンバーのなかに故障者(体調不良・重度のスランプなど)が散見され、必ずしも万全の体制で臨めなかったが、他がよくカバーし何とか昨年を上回る成果を取ることができた。

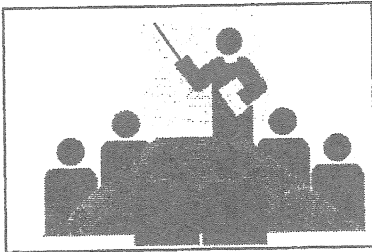
来る11月22日(土)から23日(日)にかけて、恒例の囲碁部合宿が昨年と同じ常陸多賀のホテル静台荘で行うことが決まっている。当日は、特別料理の「アンコウ鍋」を囲み、日頃の俗塵を離れ、囲碁三昧の一夕を過ごしたいと思っている。

次は12月の例会の件で、予定日の28日(日)は会場の成美会館が休みのため、一週間繰り上げて、21日(日)となった。なお、当日は夕刻より忘年会(場所未定)を行う予定である。(部会長 辰巳徳蔵)

太極拳部会

11月1日(土)は無風、曇りから晴れの天気で、早大所沢キャンパス陸上競技場のド真ん中で、「トトロの森」から流れる爽やかな気を満喫しながら太極拳を演舞した。400メートルのトラックでは松崎さんの興さん、浜中さん、元インターハイ選手清藤さんが颯爽とした走法を披露し参加者の拍手喝采を浴びた。トラック周辺の紅葉は真っ盛り、満開の冬桜、真紅の椿の道を散策し、午後は民放TVアナウンサーの「トークショウ」を参観して、大変有意義な清々しい一日を過ごした。(部会長 船尾和三)

第11回東久留米雑学塾一講演要約



10月5日(日)中央公民館で当会主催の第11回雑学塾が開催された。講師には当会会員であり、元防衛庁技術研究本部第一研究所主任研究員で現佐野女子短期大学名誉教授・工学博士である川俣栄一氏に登場願ひ、虫の驚異的な生態を参考に、医療用や産業用のマイクロマシン(超微小機械)の研究・開発が進み、そのいくつかはすでに実用化されている現状をわかりやすくお話しいただいた。30余名の出席者は身近にいる虫の想像を絶する身体能力や環境適応能力、特異な行動を教えられ会場は時折驚きや笑いの声に包まれた。

「虫の生態に学ぶーマイクロマシン」

川俣栄一(当会会員・28年理工)

工学博士・佐野女子短大名誉教授

虫達のしたたかな生き方は驚異に満ちている。これらはときに科学技術開発上のアイデアを提供してくれる。このためかここ10数年来、虫の生態を参考にした、“マイクロマシン”(超微小機械)の研究が脚光を浴びている。ここでは医療の立場から、虫にヒントを得た新しい治療技術の動向について述べる。

現在、地球上に住む登録済の昆虫は約100万種であるが、過酷な生息環境への見事な適応性と生態行動の高度な多様性は他にその類例を見ない。

まず、虫は特異な形態を持ち、骨格は外側にある。音・光・香で環境情報を知り、臭覚・味覚・触覚・振動により敏感に行動する。虫はまた驚くべき身体的能力を持ち、翅を持つ一つの無脊椎動物でもある。また、虫は擬態により護身と狩りを巧みに使い分けして生きている。特殊な虫を除いて多くは短命であるが、これを恐ろしいまでに大きな繁殖力でカバーしている。

さて、“マイクロマシン”への身近な参考として、まず蚊およびサルモネラ菌の行動が行動が考えられる。蚊のメスのみが行う吸血システムは、高度な構造機能と正確な検出機能で支えられており、これらを駆使して巧みな吸血行為を行う。この生命力の逞しさは驚嘆に値する。また、サルモネラ菌は他の生態にはこれまで見られない極めて高度な高速回転部を持つ。その回転数は12000/分で、回転力の制御は筋肉の収縮と弛緩という簡単なオン・オフ制御で実現している。この高速回転部とその制御法は、微少な分子モーターの作成を示唆する。

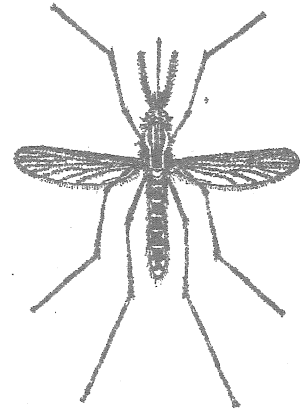
一般に、大きさが数ミリから数ミクロン(100万分の1メートル)、あるいはそれ以下の機械を総称して、“マイクロマシン”と呼ぶ。機械を小さくするといろいろなメリットが考えられるので、これらは数ミリから数ミクロンのもの、さらには数ナノメートル(100万分の1ミリ)のものを創ろうというのが、“マイクロマシン”の夢である。既に、蚊の口吻の仕組みを参考に、無痛の「医療用マイクロ注射針」が開発されている。また、手術用マイクロ器具の開発により、腹部に小さな穴を4個あけるだけで行う「腹腔鏡下手術法」が、胆嚢摘出や肺がんの切除にも利用されている。さらには、必要な器具をすべて一本の細いパイプ内にまと

め、直接血管内を観察しながら所要の処理をするという画期的な血管内視鏡を、日本が世界に先駆けて開発した。これは狭心症や心筋梗塞治療の発想を180度転換した。

最近では、脳血管を想定し先端部が血管壁に接触すると自動的に反対方向に曲がる湾曲能動カテーテルや脳血管などの狭い空間内を自由に走行するマイクロロボットの研究が活発に進められている。若し、これらがお目見えしたら例えば、脳内の血栓を掻きとって排除することや、脳血管の破損箇所を縫合するなどが考えられる。しかし、まだ手術者は狭い空間で微細な医療処理を余儀なくされる。ならば対象物、例えば血管などを立体的に拡大視出来るようにすればよい。このため、“マイクロマシン”とコンピューターの連携利用による「仮想現実感」の導入が考えられた。これは、コンピューターに作られた仮想の立体空間に人間が入り、現実とは異なる架空の世界のなかで、恰も現実と同じ視覚と触覚を得ながら、ミクロな医療処理をマクロな視野で行うという狙いを持つ、最近では、分子レベルのマシンを目指した夢のナノテクノロジーへの期待が取り沙汰されている。

このようなミクロの世界では、粘性とか摩擦とかさらには制御など、普通のマクロの環境では考えられないような問題が山積している。しかし、それらはどれも絶対に不可能というものではない。

いま、やっと芽を出したばかりの“マイクロマシン”ではあるが、その将来には医療用にしても、現在想像もつかないような広大な応用分野が、確実に待っているものと思われる。



BY COURTESY OF THE U.S. DEPARTMENT OF AGRICULTURE
FIG. 2.—Aedes Aegypti, the yellow fever mosquito

東稲広報室



<早大キャンパス内 タバコ販売全面禁止に>

「健康増進法」の施行に伴い、キャンパス内のタバコ自販機は9月末を以て撤去された。学生サークルやボランティアの協力により、教職員、学生が一丸となり「キャンパス禁煙キャンペーン」も実施されている。

<留学生のホストファミリー募集>

国際教育センターでは、日本語および日本関係の科目を学ぶ留学生のホームステイ受入家庭を募集している。ホストファミリーには、大学から生活費として月額76,500円が支給される。[お問い合わせ先] 国際教育センター TEL 03(3207)1454

<平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)にご参加を>

WAVOCは早大の国際社会貢献の中核となり、学生のボランティア活動を推進することを目的として昨年発足した。内容は国内外の教育支援、地域交流、自然環境保護など多種多様。学生のみならず、広く校友・地域の人々の参加を求めている。[お問い合わせ先] 平山郁夫記念ボランティアセンター TEL 03(3203)4192

<会員子女が歌うFOLKY JAZZのCD紹介>

佐々木洋一会員のご令嬢、佐々木彩子さんは、ホーク系ジャズ演奏集団“渋谷知らズ”に所属し活躍されている。同氏の繊細な歌詞、表現力溢れる伸びやかな歌がCD「空」(全2作、地底レコード)に収録され発売されている。

会員の声

山岡 恭子 (教育・英文53年卒)

先日、あるクラシックコンサートの開催企画に参加する機会をえた。このコンサートはニューヨークジュリアード音楽院の若き精鋭、メイティン・スン(22才・ピアノ)、エスター・キム(15才・ヴァイオリン)を招き、紀尾井ホールで去る9月11日に開催された。彼らは、今までにいくつかの賞を受賞していて、学生ながらすでに演奏活動も行っている。私の担当は、パブリシテイ(宣伝・広報)であった。来る日も来る日も、資料をFAXで送ったり、取材のお願いの電話をしたり、少々げんなりしてしまったが、努力のかいあってか最終的には、3つの新聞社と2雑誌が当日の取材をしてくれる運びとなった。中でもうれしかったのは、音楽之友社の音楽評論家が、二人の演奏の評論をしてくれるということである。この評論は現在発売中の「音楽之友11月号」に掲載されている。また、早稲田大学教育学部OBで高名な音楽評論家、黒田恭一氏にも、ぜひご来場頂きたかったのが、パブリシテイ資料に手紙をそえ、差出人の所には、東久留米稲門会・早稲田大学後輩としっかり書き、手紙にも「私は早稲田大学卒で、しかも教育学部で先生の後輩です」の一文をいれた。渡欧のため、先生にはご来場頂けなかったが、直接、激励のメールを下さったのには大変感激した。私にメールを下さるなんてさすが、早稲田の先輩だと思った。コンサートの前の2日間は、スタジオでの練習に立ち会って、何回も二人の美しい音色を聞くことができた。二人は、外見はごく普通の青年と少女でありながら、いったん演奏を始めると天から、何か崇高な魂のようなものが降りてきてたちまちオーラで彼らを包んでしまうように感じられた。それはとても不思議な感覚であった。今回の経験は貴重で、様々な事を学ぶ事ができたように思う。

さて、今回のこのコンサートでは、太極拳部会の船尾部会長と部員の皆様には大変お世話になり感謝しております。素人のプロデュースするコンサートということでチケットの販売ノルマがあったのですが、船尾部会長は太極拳の時、私がコンサートの宣伝をすることをご快諾下さり、たくさんのチケットを皆様にお買い頂くことができました。船尾部会長並び、当日ご来場下さった皆様、本当にありがとうございました。

私のレシピ

<豆腐の味噌漬け> 浜中 和子 (太極拳部会員)

材料： 絹ごしの豆腐一丁 (できたら大豆甘い味のするもの)

白味噌、赤味噌 (豆腐の2倍量くらい)。ガーゼ。

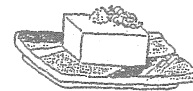
作り方：①豆腐を布巾に包み、くずれない程度の重石をし、しっかり水を切る。

②白味噌、赤味噌 (割合はお好み) を適量の味醂でのぼし、漬け床を作る。

③器に漬け床をしき、よく絞ったガーゼを置きその上に豆腐をのせ、ガーゼでおおい、その上からまた漬け床をかぶせる。

④冷蔵庫で保存。

* 3日目頃から食べられますが、だんだんと辛くなってきます。勿論、赤白の割合でも変わってきます。しっかりと水切りした大豆の甘味のある豆腐は、本当にチーズの味がするようになります。



【編集後記】○先日、噂を聞いて、粋なバアさんがやっているといううどん屋を探し訪ねた。生憎く売り切れて評判の天ぷらうどんにはありつけなかったが、閉店仕度のバアさんは申し訳なさ気に「折角きたのだからお茶でも飲んでけ」といって、ばあさん特製の大根の塩揉みと駄菓子の接待をしてくれた。小綺麗な店とは世辞にも言えないが、木訥で乱暴な言葉の裏にある、ほんわかとした人間味と土の匂いが嬉しく、つい小一時間も話し込んでしまった。巷では選挙カーが、バアさんとは対称的に懇懇な美辞麗句を高言しながら往来している。このばあさん、一体誰に投票するのだろうか。彼女の選んだ人を知りたいものだ。○会員リレーエッセイ「噴水広場」は今号お休みしました。前号同コラム、国米さんのエッセイ文中、「芥川賞」作家、伊永漢としたのは「直木賞」の誤りであり、時の首相「森喜郎」としたのは「森喜朗」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。